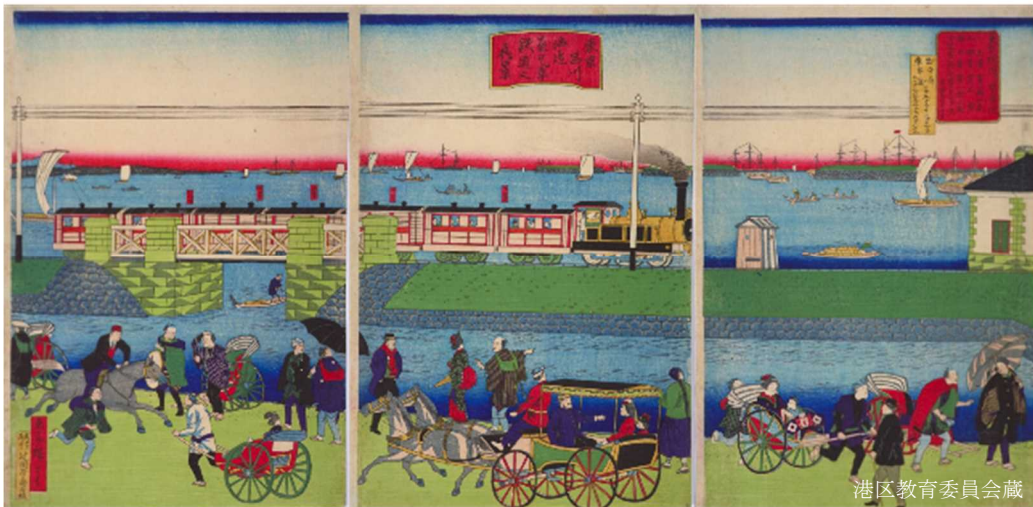


## 高輪築堤（概要）

高輪築堤は、明治5年（1872年）10月に我が国初の鉄道が新橋～横浜（現・桜木町）間に開業した際、本芝から高輪海岸を経て品川停車場までの約2.6キロの間、海上に線路を敷設するために築かれた鉄道構造物。

工事はイギリス人技師エドモンド・モレルの指導のもとで民部省鉄道掛（後に工部省鉄道寮）が担当し、石垣の石材には台場や高輪海岸の石垣等が使用。一度埋め立てた土砂が波に流されて築堤が崩壊するなど難工事となり、完成したのは正式開業直前の明治5年9月となった。明治日本の近代化を象徴する遺跡として貴重。

（情報提供：港区教育委員会）



東京品川海辺蒸気車鉄道之真景（歌川広重(三代)）  
明治5～6年頃（1872～1873年）頃

# 【高輪築堤跡の視察地図】

